



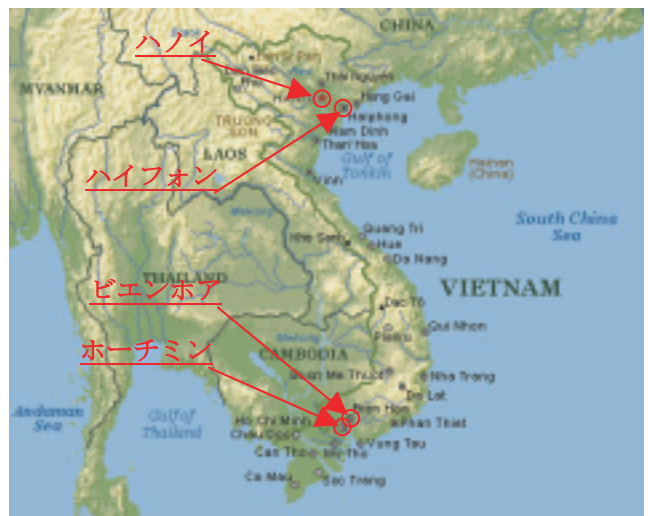
GCUSベトナム調査報告

資源循環研究部
総括主任研究員
佐藤 博司

1. はじめに

GCUSでは、世界の水・衛生問題解決への貢献と、下水道事業に関連する日本企業の海外展開を支援するために、ベトナムグループ、下水道海外ビジネス展開共同研究グループ、海外ネットワーク形成グループ等を組織して活動しております。今回、その活動の一環として最近わが国のODA協力により多くの下水道事業案件が進んでいるベトナム国の調査を平成21年12月21日から28日まで行いました。

今回の調査では、同国の有識者との意見交換をはじめ、同国における海外企業の動向調査、本邦企業の動向調査、GCUS関連の情報発信、ベトナム国水協会とのネットワーク作りなどを主な目的にしています。



2. 訪問調査先

8日間で5都市を巡り、①JICA南部連絡所事務所（ホーチミン市）、②ホーチミン市洪水管理センター（SCFC、ホーチミン市）、③在ホーチミン市日本総領事館（ホーチミン市）、④ビンフン下水処理場（日本国ODA案件）（ホーチミン市）、⑤日系企業との意見交換会、⑥ビエンホア市日本企業工場（ビエンホア市）、⑦LOTECO工業団地排水処理施設（ビエンホア市）、⑧ビンズオン省ツァオモット市水環境改善事業PMUおよび下水処理場建設予定地（日本国ODA案件）、⑨在ベトナム日本大使館（ハノイ市）、⑩JICA



SCFC Cong 副局長とのエール交換

ベトナム事務所（ハノイ）、⑪ベトナム上下水道協会（ハノイ市）、⑫ベトナム建設省（MOC、ハノイ市）、⑬ハノイ市バイマウ湖改良現場、⑭ハイフォン市水環境改善PMUおよびODA下水処理場現場建設予定地（ハイフォン市）などを訪問しながら、盛り沢山の調査とともにGCUS関連の情報発信を行うことができました。

今回の調査の成果としては、本邦企業9社とベトナム南部の下水道施設について調査したこと、GCUSの活動をベトナムの下水道関係者に伝えられたことなどがあげられます。それに加えて、ホーチミン市洪水管理センター（SCFC）からワークショップ共催の申し出を受けたことや、ベトナム上下水道協会から日本下水道協会に対して連携の申し入れがあったこと、ベトナム建設省およびベトナム上下水道協会から下水道研修事業への支援要請があったことなど、両国の連携強化につながる話し合いができたことが最も大きな成果と言えます。

3. おわりに

ベトナムの下水道技術、下水道制度、人材、運営資金などまだまだ不十分な状況ではありましたが、下水道の必要性や維持管理の重要性、また、下水道新技術導入に対する意欲などから、今後のベトナムにおける下水道事業の発展の可能性を感じました。



ホーチミン市ビンフン下水処理場14.1万t/日



ホーチミン市内での日系企業との意見交換会の様子



ハノイ市トゥック・バック下水処理場最終沈殿池



ビンズオン省ツーザオモット市下水処理場建設予定地